



もいまち

平成29年(2017年)8月

第72号

議会だより



はんげしょう
写真／半夏生の里 鍛冶島

《主な内容》

6月定例会審議結果
出前報告を開催します
一般質問

2～3ページ

4

4～7

「買い物弱者」の対策を急げ
「新田赤松線」の整備計画は 他

6月定例会

森町議会は、6月定例会を12日から27日まで開催し、補正予算や条例などを審議しました。

一般質問は、買い物弱者支援についてなど7人が質問しました。

(4～7ページに掲載)

補正予算

※補正予算とは、年度中に生じた事柄に対応するため予算を増減額する議案

一般会計補正予算(第2号)

追加	627万5千円
総額	70億677万5千円

森町体験の里振興費

アクティ森陶芸体験センターの屋根を修繕する

(116万2千円)

防災施設整備費

開運町自主防災会など7か所の防災倉庫を更新する

(204万2千円)

山村振興事業費

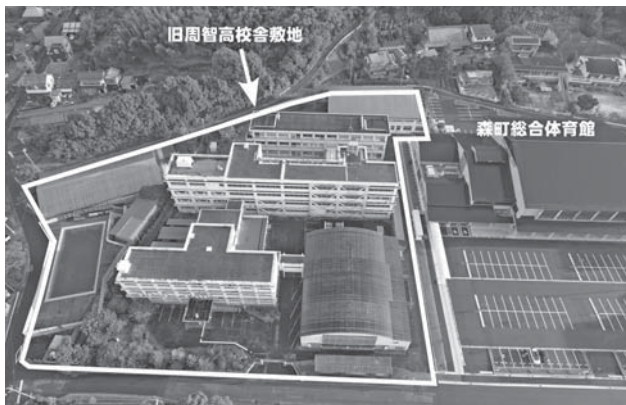
吉川キャンプ場トイレ棟の水道漏水を修繕する

(68万1千円)

体育施設費

森アリーナに隣接した旧周智高校舎敷地等を、県から購入するために不動産鑑定を行う

(県・町それぞれで実施する)
(95万円)



旧周智高 校舎跡地(ドローンで空撮)

天宮土地地区画整理事業完了へ

平成9年度にスタートした天宮土地地区画整理事業は、今年度事業完了を目指すため、※換地処分を秋に予定しています。それに伴い6月議会では、関連する2議案を審議しました。

※換地処分は、工事・保留地販売、権利関係の整理等が全て完了した後に行われます。これにより、区画整理後の土地の権利が確定します。

一般議案

※一般議案とは、条例、予算、人事など以外の議案

小字の廃止

換地処分により、区域内の全ての地番が変更され、それに併せて区域内の小字を廃止する

条例

※法令、政令とは別に、自治体が独自に制定できるルール

森町都市計画税条例

区域内の小字廃止に伴い課税区域の表示を変更する

※都市計画税とは、都市計画区域の一部及び下水道処理区域に課税される税で、区画整理事業、都市計画事業(都市公園の整備等)に使われる



区画整理による整備前



区画整理による整備後

人事

※議決が必要な委員等を、町長が選任等をする際に出される議案

人権擁護委員候補者の推薦

※はぎもと
萩本弘江氏(城下下)と天野美奈子氏(中川下)を推薦しました。

※人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行う

補正予算(追加議案)

一般会計補正予算(第3号)

追加 1242万円
総額 70億1919万5千円

6月21日の豪雨による災害への対応

公共土木施設災害復旧費

町道等の崩土除去、倒木処理、※浚渫、大洞院川の災害復旧のための測量設計等

(862万円)

※浚渫とは、河川等の堆積土を除去すること

林道災害復旧費

林道屋奈沢線外2路線の路肩補修等

(170万円)

治山施設災害復旧費

栗ノ島排水路土砂浚渫等

(170万円)

6月定例会の審議結果

	議案名	結果	備考
人事	人権擁護委員候補者の推薦	推薦	全員賛成
	人権擁護委員候補者の推薦	推薦	全員賛成
一般	小字の廃止	原案可決	全員賛成
条例	森町都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成

	議案名	結果	備考
補正予算	平成29年度森町一般会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成
	平成29年度森町介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成
	平成29年度森町三倉簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成
	平成29年度森町一般会計補正予算(第3号)	原案可決	全員賛成

新議員研修

受講者……岡野豊、中根信一郎

加藤久幸、岡戸章夫

☆研修会

5月29日・30日、森町役場委員会室にて、役場組織、主要事業、予算の概要についての研修を受けました。

各担当課の課長等から細かく説明があり、私ども、新人議員にとつては、大変有意義でした。

☆公共施設を視察

6月2日、森町内の施設、保健福祉センター、デイサービスセンター、防災無線設備(森分署)、拠点防災倉庫、森町浄化センター、森アリーナ、



拠点防災倉庫を視察



各課事業の説明風景

中遠広域一般廃棄物最終処分場(一宮)、愛光園天宮サテライトなどの施設を視察し、適正に管理され安全・安心に生活できるのが分かり、百聞は一見にしかずというように、新たな発見もあり、大変勉強になりました。

今回の施設視察を参考にさらに森町らしいまちづくりが進むよう、引き続き活発な議員活動に取り組んでいきたいと思っています。

出前議会報告 を実施します

町民の皆さまに、議会をより身近に感じていただけるよう、議会報告に伺います。開催は、希望する団体(町内会、各種団体など)の皆さまに地域の議員と数名にて、個別に行います。



普段なかなか知ることのできない町の事業について、議員がわかりやすく説明します。あわせて議会に対するご意見もお伺いしたいと思います。

開催希望の団体(町内会、各種団体など)は、議会事務局までご連絡ください。

※希望される団体が多数の場合、日程調整をさせていただきます。
実施期間は、7～12月を予定しています。

申込み・問合せ先 議会事務局 85 - 6329

町政を問う ～一般質問～

※一般質問は、議員が町の行政全般を対象に、議長の許可を得て行う質問です。

町長 地域住民がお互いに助け合い、町が必要な支援をしていくことが理想と考える。

問 支援として、移動販売や宅配サービスが必要になってくると考える。民間を後押しする支援の充実を図る取り組みを構築することが望ましい。移動販売等に対する補助を目的とする「買い物環境整備促進事業」の制度導入の考えは。

町長 正確に実態把握はできていないが、昨年度、65歳以上の高齢者を対象とした高齢者実態調査結果から、高齢者のおよそ3割の方が、「買い物弱者」及び「買い物弱者予備軍」として推計される。

問 森町では人口減少と共に、少子高齢化や過疎地域の拡大が進み、移動手段がない高齢者を中心に「買い物弱者」が増加している。対策は急務であると考えているが、実態把握はできているか。



伊藤 和子

「買い物弱者」の

対策を急げ

町民が住み慣れた地域で生きがいを感じながら、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、どのような方策が森町にとって最善であるか、先行事例・各種制度を参考にしながら、絶えず検討していく。



移動販売で買い物をする方々(三倉地区)



西田 彰

第9次森町総合計画の 具体的施策は

問 第9次総合計画は第8次計画をほぼ踏襲していると考えるが、少子高齢化による人口減少が顕著である。買ひ物弱者支援、子育て家庭の負担軽減、内陸フロンティアによる企業立地環境の整備等々、具体的な予算計画はあるか。

町長 総合計画は平成28年度からの10年計画であり、すでに実施している施策もあるが、その計画実現には法律や規制面の解決、財政的には、国、県等の補助金等の財源の確保等々、課題解決を図りながら進めていきたい。

一宮地区グラウンドゴルフ場

問 一宮地区グラウンドゴルフ場は、シニアの皆さんの憩いの場・交流の場である。しかし、トイレは古く、休憩施設等の建物は建てられない状況にある。毎年要望が出されるが、町主導で永久施設として整備できないか。



グラウンドゴルフ場と現在のトイレ

町長 愛光園増設により現在の場所に移っている。連絡会、シニアの皆さんからの要望で整備構想の策定などを行ったが、関係する地権者をはじめ、地元から様々な意見が出され、集約できずに止まっている。担当課としても今後も粘り強く用地交渉を進め、地域住民の理解が得られれば整備を進めたいと考えている。

町政を問う ～一般質問～



鈴木 托治

教師の勤務時間の改善を

問 国づくりは人づくりからである。教師には未来を背負う子どもたちを立派に育てる義務がある。教育現場では、厳しい労働環境の中で苦しんでいる教師がいる。もう少し余裕を持った勤務体制ができないか。

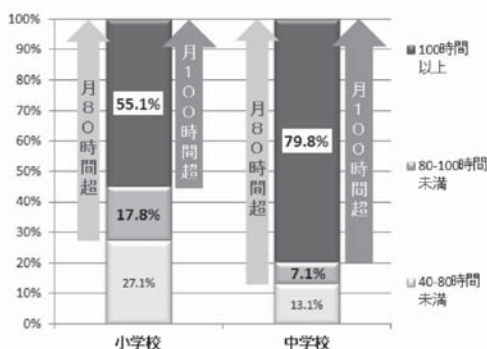
教育長 ご指摘のとおり、教育現場においては、教科指導のみならず、生徒指導、いじめ防止対策、陸上などの課外活動とやるべきことが多岐にわたっている。

教育委員会としても、特別支援教育支援員や図書館アドバイザーなどを配置して、教職員の負担軽減を図っている。今後も一人一人の子どもと向き合う時間の確保と先生のゆとりの実現に努めていきたい。

問 教師の労働時間が、過労死限界のところで仕事をしていると思うが、どのような対策を考えているか。

教育長 教職員の多忙化は、森町に限らず全国的に課題となっている。県内でも吉田町のように、国や県の指定を受けて、ゆとりを持って子どもに向き合う時間確保の研究をしているところもある。

また、磐前地区においても、教育活動について見直しを図るため、組織ごとに調査検討を始めている。今後も、これらの動向を注視しつつ、教職員の働きやすい環境づくりに努めていきたい。



小中学校における1か月の残業時間数
(連合総研の調査報告書から算出)



中 根 幸 男

新田赤松線の整備計画は

問 都市計画道路「新田赤松線」は、昭和45年に都市計画決定され、整備が進められてきた。
未整備区間は、市街地で整備が難航すると思うが、今後の整備計画は、どのようになっているか。

町長 新田赤松線は、袋井警察署森分庁舎前の県道掛川天竜線との交差点を起点とし、天宮(川向)の県道袋井春野線との交差点を終点とする森地区の骨格となる路線として、位置づけられている。
未整備の区間は、天宮土地区画整理区域境から森小学校の東側を通り、役場前に至る区間で、延長は720mである。

新田赤松線は、森町市街地全体のアクセス向上に加え、住民の安心・安全・快適な住環境づくりと定住化促進及び、通園・通学的安全確保につながる重要路線である。

今年度、整備実現に向けた概略設計を実施していくこととした。

概略設計では、路線の線形や経済性、施工性、構造比較など検討を行い、



全線開通が待たれる新田赤松線(撮影は天宮地内)

その結果を基に影響範囲や課題などを整理し、地権者や地元への説明資料とする。

また、整備の可否や立地適正化計画を踏まえた整備手法など、財源確保についても検討を行い、国や県の機関、地権者や地元関係者とも十分協議しながら進めていきたい。

町政を問う ～一般質問～



岡 野 豊

危険な状態の

空き家の対策は

問 空き家調査の結果、森町内に505戸の空き家候補が確認された。空き家対策特別措置法では市町村長に大きな責務、権限を定めている。今後、利活用と適正管理に向けて取り組んで頂けると期待している。町民の安心・安全のため、利活用に係る空き家バンクの創設並びに役場庁舎内相談窓口の設置と支援制度について、今後の計画策定において、どこに重点を置いて取り組まれるか。

町長 町では、平成28年度に実施した空き家調査の結果を受け、空き家等対策計画の策定を進めている。

策定にあたり、関係機関と十分調整の上、所有者の空き家等適正管理に対する意識啓発や老朽化等により危険な状態である空き家対策と併せて、より効果的な窓口の一元化を構築していきたい。

移住定住促進のための利活用策として、空き家バンクを創設し活用していきたい。

また、役場関係各課が横断的に相談に乗れるよう、職員の知識の向上を図り、維持管理に関する相談、解体、跡地の有効活用等、空き家の問題解決と町民の安心・安全確保、移住定住のための一つのツールとして活用していきたい。



危険な状態の空き家(イメージ)

地区	空き家候補(戸)
三倉	107
天方	83
森	197
一宮	20
園田	49
飯田	49
計	505

※空き家候補は、現地調査の結果、使用実態がないと判定された建物数



加藤 久幸

飲酒運転防止に対する 職員教育は

問 飲酒運転が社会問題になっている。飲酒運転で、人を死傷させるのは、過失ではなく故意の犯罪である。

危険運転致死傷罪が創設され、多くの事業者や行政が、管理強化を行っているが、役場では、飲酒運転防止のために、どのような職員教育をしているか。

スポーツ推進委員の選考基準、資格は

問 スポーツ推進委員は大変重要な職務と考えるが、選考基準、資格はどうなっているか。青少年の健全育成の観点からは。

町長 毎年飲酒の機会が多くなる連休や祭典前に、交通安全の徹底と、節度ある行動を取るよう指示を出している。

また、全職員を対象にした交通安全研修も実施している。このような取り組みにより、職員による飲酒運転の違反者は出ていない。

今後も、啓発や研修を継続的にを行い、飲酒運転防止に努めたい。

アルコール1単位
(体が処理する目安として4時間)

酒の種類	1単位の目安
ビール(5%)	500ml
日本酒(15%)	1合(180ml)
ウイスキー(43%)	ダブル1杯(60ml)
ワイン(12%)	小グラス2杯(200ml)
チューハイ(7%)	350ml
焼酎(25%)	コップ半分(100ml)

この他、森町体育協会各支部の依頼に応じ、指導、助言、準備や審判を行うなど支援をしている。

来る8月6日に、小中学生を対象に「元氣もりもりスポーツ教室」を予定している。

委員は可能な限り各種研修会へ参加し、知識や技術などの習得に努めている。

現在森町では、多くの場合、退任される際に後任を推薦していただき、候補者として教育委員会に諮り、12人の委員を委嘱している。

教育長 スポーツ基本法により、社会的信望があり、スポーツの推進のために、必要な熱意と能力を持つ者の中から、スポーツ推進委員を委嘱している。

町政を問う ～一般質問～



ドローンとコントローラ

問 ドローンは映像技術を駆使した観光PR、農地調査や災害時の活用など、業務の効率化、質を上げる技術だと思うが、森町でも導入の予定はあるか。

町長 情報通信技術の進化により、これを地域活動の活性化や課題解決に活用する自治体が増えている。

ドローンは空撮による観光映像活用や、災害時の状況調査・救助活動への利用等が考えられる。

しかしながら、規制や安全対策・



岡戸 章夫

ドローンの活用は

プライバシー等の問題が自治体に求められるので、基礎知識の習得や二つの検証も行いながら、前向きに検討していきたい。

また、民間業者によるデモンストラクション等の開催についても検討していきたい。

遠州の小京都を授業で

問 遠州の小京都の由来を学校の授業の中で取り入れ、子どもの頃から親しんだらどうか。

教育長 小学校では、社会科や総合的な学習の時間でふるさと学習や郷土学習などを行っており、このような機会に話題に触れることは可能である。

中学校でも特化した授業は難しいが、古典や地理の中で紹介は可能であると思う。

その他の質問

・広域的連携での観光施策の取組について

みんなのこえ



森町飯田青葉少年野球クラブ

私達の団は、昭和48年に設立、今年で45年目を迎えることができました。団訓としては、礼儀、感謝、社会奉仕活動に力を入れております。東日本、熊本等の大きな災害が起きたときには、山梨のママの駐車場募金活動を行いました。

現在の団員は6年生5名、5年生2名、4年生7名、1年生2名。練習等は主に豊田合成のグラウンドで行っております。

昨今少子化及びスポーツ少年団の多様化によって団員確保が厳しくなっておりますが、少ないなりに負けずに頑張っております。特に女子2名は、中遠支部の代表として8月12日13日に埼玉県宮大宮公園野球場で開催される全国大会に出場いたしました。野球は男子だけのものではないことの現れです。

今年の1月に掛川グラウンドホテルで40周年記念式典を行いました。団員・中学生・高校生・社会人のOBも100名近く参加し、盛大に開催することができました。

子ども達の野球に対する、真摯に白球を追いかける姿は、大人も大いに学ぶところがあります。

これからも未来ある子ども達のために活動を続けます。

見学自由、年中団員募集中です。

代表 山田尚夫

電話 0538(8)3682

議会を聴きにきませんか

6月議会では、のべ15人の方が、議会へ足を運んでくださいました。予約は必要ありません。手続も簡単です。議事堂は役場3階です。是非、お越しください。

- 定員数28名
- お問い合わせ先...議会事務局
電話 0538-85-6329

<9月定例会の予定>

9月 4日(月) 本会議 初 日
9月 8日(金) 本会議 2日目
9月13日(水) 常任委員会
9月25日(月) 本会議 最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。
※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

あの一般質問

どうなっただいやあ～

【平成28年9月定例会】

Q 小中学校にエアコンを設置できないか。

A エアコン設置は検討する時期にきていると思う。



宮園小と飯田小のランチルームにエアコンを設置しました

ひとこと

議員になり早や四か月。しかしながら議員に新人などという期間は存在しないのです。「最初から頑張りすぎるなよ」と、アドバイスも頂きましたが(笑)、四年間という時間を一日たりとも無駄にはできません。

さて、私が尊敬して大好きな天才技術者でありホンダの創業者「本田宗一郎」さんは、いつも「それは無理です」という部下に「やってみませんか!」と何かがわかるだ!」と言って怒ったそうです。そう、私もこの遠州弁が大好きでくじけそうな時は、この言葉をいつも胸に心を奮い立たせます。みなさんが元気になる言葉は何ですか?

A・おかど

議会だより編集委員会

議長	山本俊康
委員長	亀澤進
副委員長	岡野豊
委員	中根信一郎
委員	加藤久幸
委員	岡戸章夫